

例会報告

第2429回例会報告議事録

日時 28年5月17日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それこそロータリー」

ビジター：なし

ゲスト：西村誠様(川村学園女子大学 副学長)

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



50周年の記念式典があと一週間に迫りました。実行委員会でいろいろ準備をしてきましたが、今日この後、打ち合わせ等々行います。次回、24日の例会は翌日から始まる記念式典についての説明、打ち合わせになりますので、全員参加でよろしくお願いいたします。

26日の記念式典には120名ちょっとの参加予定です。クレストホテルの宴会場のほぼリミットです。食事を私は是非、純日本式の料理にしたかったのですが、予算的にかなり高くなるため断念しました。ただ、アトラクションで佐藤康子さんのソプラノ演奏もありますし、楽しんでいただけるのではないかと思います。

前日にはウェルカムパーティーを予定しています。台湾からは16名、ハワイからは13名の参加を予定しています。気持ちよく楽しんでいただけるように準備しています。樽酒の鏡割りや、バックグラウンドミュージックとして4人のコーラス、寿司の模擬店も予定しています。

皆さんの役割もありますので、次回24日の例会の時に詳細のご説明やご協力をお願いをする段取りになっています。どうぞよろしくお願いいたします。

親睦委員会報告

木村委員長



50周年の時に、お誕生祝でお渡ししているネクタイをしめることになっておりますので、よろしくお願いいたします。

出席報告

渡邊委員長

22名出席(全員で24名) 出席率91.6%

瀧日会長より米山功労者3名へ表彰を授与



小池会員へ米山功労者(マルチプル)表彰を授与



塩毛会員へ米山功労者表彰を授与



丸田幹事へ米山功労者表彰を授与

柏市民ギャラリーでの記念文化振興財団 コレクション展について

松本会員



柏RCにメーキャップに行って参りました。寺嶋ガバナーエレクトの財団の方で記念文化振興財団のコレクション展が行われているそうです。

柏市民ギャラリーで、5月14日(土)~30日(月)は肉筆の浮世絵、6月1日(水)~16日(木)は花鳥動物画を展示しています。肉筆浮世絵の方は、北斎、歌麿呂、写楽の、版画ではなく肉筆画が展示されています。

ねむの木学園のこどもたちとまりこ美術展について

高島会員



昨日、東京銀座画廊という美術館で、ねむの木学園のこどもたちとまりこ美術展を見てきました。身体の不自由な方の絵を見ながら、絵の素晴らしさに涙が出ました。5月29日までやっています。

西川誠先生のご紹介

服部プログラム委員長

本日はこちらの川村学園女子大学の副学長でいらっしゃいます西川誠先生に卓話をお願いしました。川村学園さんとは会場をお借りするというご縁ができましたので、ぜひ先生にお話を伺えたらと思っておりました。本日、大変ありがたく思っております。西川先生、どうぞよろしくお願いいたします。

卓話

川村学園女子大学副学長 西川 誠様



卓話ということで、最初に少し川村学園と我孫子の話をさせていただきます。

次に、ちょっと固いのですが、平成24年7月に今上陛下(きんじょうへいか)に「明治天皇のご事蹟」ということでご進講いたしましたので、明治天皇と立憲君主についてお話させていただきたいと思っております。

平成19年に人材育成と住み良い街づくりの推進を目指した連携協定を我孫子市と締結しております。主に私共の学生が小学校の教育ボランティアに出向いております。また、心理学科や社会教育学科が公民館の活動に協力させていただいております。

大学施設の開放ということで、皆様のこのような会合や、土日にグラウンドを我孫子市の市民スポーツに使っていただいたり、桜の季節には庭園を開放しております。

平成15年からは心理相談センターを作り、地域住民の方々の心のケアの相談業務を行っております。毎年2、30の方がいらっしゃっています。

公開講座を毎年開催しており、今年は秋に祭りというテーマで行う予定です。

あびこ型「地産地消」推進協議会が中心として行っている、あびこ農力発見プロジェクトに参加させていただき、キャンパス内で4回料理教室を行っています。また、「地産地消」推進協議会が作ったトマト等を使い、学生と協力し、にんじんトマトジャム等を作りました。我孫子のいろいろな所で販売させていただいております。それを「大学は美味しい!!」フェアに出展し、フェイスブックで3番の人気になるという快挙を成し遂げました。今年は他にピクルスやメレンゲクッキーというものを販売したいと思っております。

こんなところで我孫子市に協力させていただいております。

続きまして、明治天皇と立憲君主についてお話ししたいと思います。

先日、今上陛下の神武天皇陵のご参拝というニュースがありました。天皇が亡くなりますと、1、2、3、5と神道のお祀りをします。神武天皇の2600年祭ということで奈良の方に行かれました。

明治天皇がお亡くなりになりまして、ちょうど100年というのが平成24年でしたので、明治天皇祭の前に明治天皇のご事蹟を天皇陛下にご進講申し上げるという慣例があり、お声がかかりました。

(1) 明治天皇のご生涯

1852年にお生まれになり1912年に亡くなりました。だいたい四期に分けられると思います。

生誕から即位までの時期には孝明天皇から宮中の年中行事、儀礼、和歌、お祀りを学ばれました。その一方、幕末ですので、京都がきな臭くなっている、父さんである孝明天皇が心を悩ませているのを側でご覧になっていたと思います。

(次ページへ続く)

文と雅の近世の天皇から、近代の政治する天皇に変わっていくのが幕末だと思えます。

二番目が「政治の中へ」で、即位されてからの10年間くらいです。文明開化の時代であり、新しいことがいろいろ降ってきましたが、お若いのでわりと柔軟に受け止められました。後に写真が大嫌いになりましたが、明治5年頃の二十歳頃の写真があります。洋風に散髪されており、肋骨型の軍服を着ていらっやいます。この写真は、岩倉使節団がヨーロッパに行った際に、君主の間で写真を交換するのですが、日本の君主の写真がなくて、あわてて撮ってヨーロッパに送られたものだそうです。

三番目の時代にはいよいよ政治に乗り出されます。政治的判断力を蓄え、発言するようになると、政府首脳と対立するようになりました。

対立を経て、四番目の時代、明治20年代に伊藤博文との信頼関係ができ、建国の父として政治的成熟の時代を迎えます。

五番目、明治30年代から亡くなられるまで、有力な政治家をまとめ、日本の近代化を安定的に支えられました。

(2) 立憲君主としての御成長について

明治10年に西南戦争が起こります。5月14日が大久保利通が暗殺された日です。

余談になりますが、大久保家のご子孫が甲東祭というのをされていて、縁があって行ってきました。敵の西郷さんのご子孫、伊藤さんのご子孫もいらっやっていて、こういう顔をされているんだ、と拝見してきました。大久保さんは割と大久保利通に似ていらっやいました。

明治天皇は西郷隆盛にかなり親近感があったと言われています。明治天皇は西郷の武張ったところがお好きだったようです。明治6年に皇居が焼けるのですが、西郷が献上した箆笥を、あれだけ持ち出せと持ち出したそうです。大久保、木戸孝允がヨーロッパに行っている2年間に一番側にしたのが西郷隆盛で、かなり親しみがあつたそうです。

明治六年政変で西郷がやめる時も、岩倉たちが西郷の征韓論はけしからんと言ったのですが、一日考えさせてくれと明治天皇はおっしゃつたそうです。そんなこともあり、非常に心をお痛めになり、鬱病のような状況になりました。

そこで、大久保、岩倉が天皇に政治教育担当官、侍補を付けました。元田永孚(もとだながさね)という当時60歳の儒学者が侍補になったのですが、彼は後に教育勅語を作った人です。その先生が政治を紹介して教えたのですが、鉄道を作る、ということ教える時も「あんなものを作るより、民の生活を見た方がよい」というような論評を加えたようです。そういううるさい爺さんが付いたことで、伊藤博文達がやっている近代化っていうのはどうなのかな、道徳を重視した方がいいんじゃないかなと思うようになり、伊藤、黒田清隆、岩倉たちと意見の対立が起こってきます。

伊藤博文はヨーロッパに憲法の勉強に行ってきた後、伊藤自ら明治天皇に、ヨーロッパの君主はこういうものだと説教方々教えました。元田というのは心のことは教えてくれるが、今、日本がどう変わっているのかは伊藤とかに聞かないといけないのだなと明治天皇は思うようになりました。

明治19年に「機務六条」を伊藤博文が上奏し、明治天皇はお受けになりました。

ヨーロッパには全部憲法があり、ヨーロッパに追いつくために、憲法を作り刑法、民法、商法を作ることが明治政府の課題でした。そうしないと怪しい黄色人種と思われるためです。

立憲君主制というのは、基本的には君主制の制限です。王様が乱暴なことをするのを防ぐということでヨーロッパでは憲法を作り、国会を作りました。

立憲君主制を導入して明治憲法を作るということは明治天皇の権限を限定することでした。近代化のために、ヨーロッパに追いつくためには必要だということを明治天皇に伝え、明治天皇は受け入れたのだと思えます。

伊藤博文だけでなく、藤波言忠(ふじなみことただ)という人が憲法の必要性について明治天皇に約4ヶ月間30回ご進講しました。

君主というのは総理大臣の大体的方針を把握していればよく、専門的なことは大臣にまかせ、裁可、最後の許可の時だけ考えるのが君主の役割である、と納得されたようです。

天皇はセカンドオピニオンとして、大臣を引退した三条実美(さんじょうさねとみ)と先程の侍補たちに意見を聞きました。明治20年頃に三条や侍補たちが亡くなった後は、藩閥政府の違う人の意見を聞きました。明治天皇は海軍、陸軍等の調整役に意識的になり、明治が安定したのだらうと思えます。

(3) 明治天皇の資質と政治の安定

天皇の資質として記憶力の豊かさがあります。前と違うことを言うと怒りました。場当たり的ではだめで、もっと長いスパンでものを考えろと提案されました。

明治33年に、明治天皇の側近を30年間くらいずっと務めていた徳大寺というお公家さんが60

近いので辞めたいと言った時に、お怒りになったという逸話があります。自分たち天皇、公家というのは長らく日本を支えてきた、継続的に守っていかなければならないという自負があり、安定的にみんなの対立を上から調和するというのをされたのではないかと思います。

近代日本の明治天皇の役割は、立憲君主をよく理解し、頑固でなかなか変わらず、伝統を重んじて、西欧化してどんどん変わっていくのを少しブレーキをかけつつ、安定性という点で明治を支え、明治大帝と言われるような天皇になられたのではないかと思います。

今も緊張して少し早口になっていますが、ご進講した際は本当に緊張しました。昭和天皇の時のご進講は宮殿でしたが、今上陛下は御所、つまりご自宅の応接室でお受けになるのが基本です。10畳くらいのソファの応接室に入り、私が座りますと、すぐその辺に天皇がいらっしゃるという状況で、あがるなという方が無理という所でお話させていただきました。

当時80歳でいらっしゃいましたので少しお耳が遠いので大きい声でと言われたのですが、緊張ともともと小さい声ですので何回も「え?それで」と聞かれ、その度にドキッドキッと、一度は「聞こえない」とまで言われ、どうしようかと思った次第です。

25分くらいで終わった後、陛下は4つもご質問されました。

陛下のご質問のひとつは、内閣の交代が頻繁でやがて政党内閣になるが、どう思うか、というものでした。内閣の交代が頻繁な中、明治天皇が調整役ということで支えていらしたのではないかとお話しました。

皇后陛下は私がお答えしやすいように質問し直されたり、お優しく、本当に聡明な方だと思いました。

以前、宮内庁の歴史を学ぶ部門で若干務めていたことがあり、退出がけに陛下から「西川さんは昔、宮内庁にいたんですね」と言われ、「ちょうど殿下がご結婚された頃に務めておりました」と言いましたら、殿下と妃殿下がにっこり笑われ安心しました。

ご進講はお給料は出ず、菊の紋が入っている香蘭社製の壺をいただきました。家宝にしようと思っております。

当時、雅子妃殿下は全くお出ましにならなかったのですが、ちょうど前日にカンボジアから皇太子殿下がお戻りになり、ご進講の前に陛下にそのご報告に御所へ来られた際に妃殿下もいらっしゃり、ついでに聞くという形でいらっしゃいました。そのため、私のところに週刊新潮をはじめ女性誌などの週刊誌がいっぱい取材にきたのですが、大学だけでなく、夜には自宅にも電話がかかり、マンションのインターホンまで来て、「すみません、陛下のご様子等は言っではいけないことになっています」と申し上げたら、週刊誌に「妃殿下の様子は言えない状況だったと西川教授が話していた」というような報道がされ、それじゃあまずいだろう、というようなまとめ方をされてしまいました。

以上、明治天皇のお話とご進講の内容等お話しさせていただきました。皆様の何かしらの知見に役立てば幸いに存じます。私以外にもっと話が上手く、もう少し専門的に話ができる人間がおりますので、ご縁がございましたら、またお声掛けいただければありがたいと思います。どうもありがとうございました。

今日は報告はございません。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
瀧日会長	明治天皇のお話し、興味深く拝聴しました。	1,000円
丸田幹事	西川先生、ありがとうございます。	1,000円
荒井会員	西川先生、ありがとうございます。	1,000円
今井会員	誕生日祝いをいただきました。	1,000円
木村会員	卓話、有難うございました。	1,000円
小池会員	西川先生、卓話ありがとうございます。	1,000円
村越会員	西川様、卓話ありがとうございます。	1,000円
当日計		7,000円
今期累計		320,000円

閉会の言葉

瀧日会長

西川先生、ありがとうございます。明治天皇というのは我々は表面的なことしか知らないのですが、天皇のいろいろな心理とか内面的なお話をいただけて、非常に新鮮な感じがいたしました。

今週の表紙「寿しむねかた」 柏市明原1丁目11番17号

柏で旨い寿司を食べたければここがおすすめです。柏駅西口から徒歩10分弱の場所にあります。6号線を越えた、ちょっとわかりにくい場所にあるにもかかわらず常に盛況のお店です。目利きの大将が築地市場で仕入れる魚は旬の天然物で、大将こだわりの魚を熟練の技で仕込んで握る寿司は本物の江戸前寿司です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。